

栃木県地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量削減の取組状況について

令和元（2019）年7月

令和2（2020）年2月改訂

（平成30（2018）年度電気事業者別排出係数の公表に伴う修正）

〔地球温暖化対策課〕

1 実行計画（区域施策編）

平成28（2016）年度の県全体の温室効果ガス排出量は、基準年度（2013）比で4.4%減であったが、前年度に比べて5万トン-CO₂増加した。要因としては、真夏日や冬日の増加に伴い、冷暖房の使用による燃料や電気の消費量が増加したことが挙げられる。

なお、基準年度に対する総排出量の削減率は、県で5.1%減、国で7.3%減であり、これは、産業部門での省エネによるエネルギー消費量の減少等の違いによる。

○温室効果ガス排出量

（排出量単位：万トン-CO₂）

	2015（H27）		2016（H28）		削減目標（2013比）	
	排出量	2013比	排出量	2013比	2020（短期）	2030（中期）
栃木県	1,874	▲4.6%	1,879	▲4.4%	▲10%	▲26%
総排出量	1,930	▲5.7%	1,943	▲5.1%	—	—
森林吸収源	56	—	65	—	67（計画値）	
全国	126,400	—	125,300	—	—	—
総排出量	132,400	▲6.1%	130,800	▲7.3%	—	▲26%
森林吸収源	6,000	—	5,500	—	—	—

※（排出量）＝（総排出量）－（森林吸収源）

2 実行計画（事務事業編）

（1）対象施設

県有施設 211施設（指定管理者等が管理する45施設を含む。）

（2）温室効果ガス総排出量とエネルギー使用量

平成30（2018）年度の温室効果ガス総排出量は、合同庁舎（芳賀・上都賀）の整備に伴う電気使用量の低減や暖房等の効率的稼働による庁舎燃料の削減等により、基準年度比で5.7%減となった。

また、エネルギー使用量は、基準年度比で10.7%減となった。

○温室効果ガス総排出量とエネルギー使用量

項 目		【基準年度】 2014（H26）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	【目標】 2020（R2）
温室効果ガス総排出量	（t-CO ₂ ）	99,707	96,295	98,125	93,983	94,722
	基準年比（%）	—	▲3.4	▲1.6	▲5.7	▲5
主な燃料別使用量	電 気 使 用 量	（千kWh）	129,000	119,693	120,411	115,577
		基準年比（%）	—	▲7.2	▲6.7	▲10.4
	庁 舎 燃 料 使 用 量	（t-CO ₂ ）	16,950	15,085	15,203	13,263
		基準年比（%）	—	▲11.0	▲10.3	▲21.8
	公 用 車 燃 料 （ガソリン）	（kℓ）	2,571	2,308	2,282	2,139
基準年比（%）		—	▲10.2	▲11.2	▲16.8	
公 用 車 燃 料 （軽油）	（kℓ）	304	297	292	268	
	基準年比（%）	—	▲2.3	▲3.9	▲11.8	
エ ネ ル ギ ー 使 用 量	（TJ）	1,645	1,554	1,569	1,469	1,562
	基準年比（%）	—	▲5.5	▲4.6	▲10.7	▲5